

令和４年度第２回阪南市子ども・子育て会議資料に関する委員からの質問一覧

提出された質問・意見等と市の考え方及び回答（内容が同一のものはまとめています。）

資料	該当箇所	委員からの質問	質問に対する回答
資料３ 令和３年度 第２期阪南市子ども・子育て支援事業計画の施策・事業等にかかる実績等取りまとめ表（案）	１ページ No.1（子ども・子育て） 教育・保育の提供体制の充実	尾崎中学校の校舎の利活用について、具体的な計画は提出されているか。	令和２年３月に、校舎部分で「子育て支援事業」、「一般型一時預かり事業」、「アフタースクール事業」や「高齢者健康増進事業」等を展開すると提出されている。 なお、校舎の取扱いについて、市と運営事業者で協議をしている。
	２ページ No.3（子ども・子育て） 幼・保・こ・小・中の連携	現在のラウンドテーブルの実施状況はどのようになっているか。	新型コロナウイルス感染症の影響により、ラウンドテーブルの開催は見送っている。
	２ページ No.4（子ども・子育て） 思春期関係健康教育	各学校で実施されている性や命に関する授業はどういった内容か。	小学校では、生命の誕生や心身の機能発達、心の健康、妊娠や出産等、性や命の大切さについてを学び、中学校では、思春期の心身の発達や生命の誕生、妊娠や出産、中絶・性感染症、デートＤＶ等について学んでいる。
		授業の中には、「赤ちゃんや幼児とのふれあい」、「人権」、「多様性」は含まれているか。	授業での赤ちゃんや幼児との触れ合いについてはコロナ禍ということもあり実施が難しい状況にあるが、妊婦の方から話を聞くことを計画している学校もある。 また、授業では、性のあり方や多様性等についても含めて学習している。
	３ページ No.6（子ども・子育て） 世代間・地域間交流	現在の実施状況はどのようになっているか。	一部の福祉委員会との交流や地域との伝承遊びの交流などを徐々に開始している。 また、対面交流を控えている団体等とは、プレゼントの交換を行うなど、可能な範囲での交流を実施している。
	３２ページ No.6 2（子ども・子育て） 地域子育て支援拠点事業	委託事業者に対する評価はどのようなものか。	委託事業者は、新型コロナウイルス感染症防止対策を講じながら、事業を中止することなく実施されるとともに、これまで市が直営で実施していた独自事業を引き継がれている。 また、市とも連携をしながら、大きなトラブルなく運営されている。
	３５ページ No.1（貧困） 子ども支援員配置事業	支援員の確保が難しかったようだが、何か工夫したか。	子ども支援員を希望されている方に関する情報があれば、すぐ管理職や市教委の担当者と情報を共有するようにしている。 また、市のウェブサイトにおいて随時募集の情報を掲載し、幅広く呼び掛けを行っている。
	３６ページ No.3（貧困） 教職員研修	教職員の研修はどういったテーマで実施し、研修内容はどのように決定するのか。	阪南市学校教育基本方針をもとに、学力向上、情報教育、外国語教育、支援教育、道徳教育、人権教育、海洋教育等をテーマに研修を実施しています。 研修内容については、指導主事で意見を出し、各担当が課題やニーズに合った研修を企画し、実施しています。
	３７ページ No.5（貧困） 学習支援事業	事業終了後のフォローはどのようにしているか。	事業自体を終了している。
	４１ページ No.1 3（貧困） 寡婦（夫）控除のみなし適用	事業終了後のフォローはどのようにしているか。	本事業は、未婚のひとり親が、税法においてひとり親とされないことを救済するために実施していたが、令和３年度以降は、税法上もひとり親とされた。そのため、担当課による事業自体は終了しているが、事実上、継続して実施している状態にある。

資料	該当箇所	委員からの質問	質問に対する回答
資料 3 令和 3 年度 第 2 期阪南市子ども・子育て支援事業計画の施策・事業等にかかる実績等取りまとめ表（案）	4 6 ページ No.2 4（貧困） 子どもを守る地域ネットワーク機能強化事業	連携している関係機関とはどこか。	岸和田子ども家庭センターや泉佐野保健所、泉佐野泉南医師会阪南支部、学校法人、社会福祉法人、NPO 法人などの 2 5 団体等で代表者会議を実施している。
		誰がどのように実施しているのか。	要保護児童対策地域協議会事務局に要保護児童対策調整機関調整担当者研修を修了した専門員を配置し、関係機関との連携を図り、ネットワーク構成員の専門性強化を行いながら、各種会議を実施している。
	5 8 ページ No.4 7（貧困） 病児保育事業	病後児保育に関する市民からの問い合わせはどの程度あるか。	年間 1 件程度となっている。
		病後児保育事業の他の自治体の実施状況は。	熊取町以南の近隣市町（3 市 3 町）においては、熊取町が貝塚市と合同で 1 施設、泉佐野市が 1 施設となっている。
なし		子ども・子育て会議と子どもの権利条例検討委員会はどのように関わっていくのか。	会議の趣旨が異なるため、基本的には別の会議体として位置付けられている。 特に、子どもの権利条例検討委員会はこれから始まるものであり、今後の議論の中で、内容や方針が決まっていくと認識している。
		事前質問の提出について、期間が短いと感じている。もう少し長くできないか。	事前質問の提出期間は、会議の開催日から逆算して設定している。今後も可能な限り配慮はするが、ご理解・ご協力をお願いしたい。